

●創成川公園における 3D プロジェクションマッピングを活用した都心部の魅力発信・にぎわい創出事業について

札幌市では、文化芸術に代表される創造性を生かして、まちの活力と経済活性化につなげていく「創造都市さっぽろ」の取り組みを推進しています。

このたび、その取り組みの一環として、デジタル技術と芸術を融合した新しい芸術表現（メディアアーツ）の一つである「3D プロジェクションマッピング」を活用した事業を実施します。

この事業は、水と緑に親しむ空間として整備され市民に親しまれている創成川公園の川面や土手を利用し、世界でも事例が少ない川面など動きのある自然物への映像投影にチャレンジすることで、公園の新たな魅力を発信するとともに、地域のイベントとも連携して市民が集える新たな楽しみを提供するものです。

札幌市では、今後も「3D プロジェクションマッピング」を活用し、都心部の魅力的な場所の発信強化や連携イベント開催によるにぎわい創出を図る取り組みを進めていきます。

なお、今年度は今回の夏の取り組みのほか、さっぽろ雪まつりの大雪像への投影も計画しています。

1 事業の名称

創成川公園 3D プロジェクションマッピング

2 事業の概要

- (1) 日 程 平成 24 年 8 月 31 日(金)・9 月 1 日(土)
- (2) 時 間 (予定) 19:00~21:00 (15 分程度の映像を繰り返し投影)
※ 開始日の前に報道関係者向けに試験投影を実施予定
- (3) 場 所 創成川公園「狸二条広場」南側の川面、敷石、土手など
- (4) 目 的 都心部の魅力の発信・再生、にぎわいづくり、先進的な芸術表現の活用
- (5) 内 容 ・高輝度のプロジェクター数台を使用して映像を投影し、音楽に合わせてさまざまな演出を行う。
・同期間に狸二条広場で開催する地域イベントと連携し、にぎわいを創出する。
- (6) その他 同事業に使用する電力については、自家発電で賄う。

投影場所



イメージ（実際の映像とは異なります。）



「3D プロジェクションマッピング」とは…

プロジェクターの映像を造形物・建築物に投射する新しい表現方法。一般的には、大きな建物などに映像を投影するなどして広告やイベントで活用されており、国内外で注目されている手法。

問い合わせ先

市長政策室政策企画部プロジェクト担当 加茂・山口

電話：211-2192